

国際交流（フランス）

2単位

1年次

高馬 京子

1. 授業の概要・到達目標

【授業概要】

国際交流（フランス）は、フランス・リヨン第3大学言語学部の日本語専攻の学生と交流し、多様な価値観を理解し、社会を多角的に捉える力を養うきっかけを得ることができるプログラムです。本プログラムは、日本とは言語文化背景が異なるフランスの視点に触れることで、世界の価値観の分断化が進む今日、多様な価値観を理解し、社会を多角的に捉える力を養うきっかけを得ることができます。これは情報コミュニケーション学部が重視する「社会の現在を捉える姿勢」や「学域横断的なアプローチ」を実践的に身につける機会にもなります。

【到達目標】

- ・フランスの短期留学を通して「異文化理解・関心」「多文化共生意識」をもつ自己へと成長する力、異文化コミュニケーション実践に基づいて国内外の関わる人との関係を構築する力を養う。
- ・自己・他者を知り、他文化に鑑み「あたりまえ」に捉われず日仏現代社会に共通する課題を発見し、その解決策を探る力を養う。

2. 授業内容

【事前学習】5月～7月頃 計3回 ※日程は募集要項を確認すること

- 第1回 オリエンテーション1, 事前自己能力判断, 研究テーマの設定, フランス語会話学習
 第2回 オリエンテーション2, 事前自己能力判断, 研究テーマの準備, フランス語会話学習
 第3回 オリエンテーション3, 事前自己能力判断, 研究テーマの発表, フランス語会話学習, 渡航前説明

【派遣研修】

- 派遣時期：9月上旬～9月中旬（9/5～9/20 予定）
 現地リヨン第3大学・言語学部開講の授業を履修
 第4回 Reception/Campus tour
 第5回 Language and Business Practice
 第6回 Language and the Contemporary World
 第7回 Legal Language 2
 第8回 Business Law
 第9回 Language and Business Practice
 第10回 Language and the Contemporary World
 第11回 Legal Language 2
 第12回 Departure Reception

【事後学習】10月

- 第13回・第14回 成果発表会, 事後自己能力判断,
 ※リヨン第3大学での授業については変更になる可能性があります。

3. 履修上の注意

本授業にはフランスへの現地派遣が含まれており、単位取得のためには参加が必須です。参加費用及び詳細に関しては別途募集要項を参照してください。

また、感染症拡大の影響や政変、大規模災害など不測の事態が生じ、渡航が不可能になった場合には、その部分の学習について日本での代替講義・演習に代えるか、またはプログラム自体が中止となる可能性があります。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

常日頃から日本の中でも自分がどのような課題について関心があるか考え、それに対して意見が言えるように、またそれに関するフランスに関する情報も得て考えるようにしてください。そのためにも指定している教科書を読んで、現代フランス社会についての基礎知識も得つつ自分の関心がなにかを探ってください。事前学習は3回ですが、帰国後この授業での研究テーマをグループで発表してもらいますので、授業以外でも、準備をするようにしてください。日本語での開講授業に参加することにはなりますが、英語のみならず、フランス語の簡単な会話も少し覚えておくと大学内外でのコミュニケーション取りやすいと思います。自分でもフランス社会のこと、リヨンのことなど調べましょう。

5. 教科書

『現代フランス社会を知るための62章』三浦信孝・西山教行編 明石書店

6. 参考書

『日本とフランスのカワイイ文化論』高馬京子 明石書店

7. 課題に対するフィードバックの方法

成果報告会を開催するため、その際に適宜フィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

事前学習における活動状況(30%)、リヨン第三大学でのプログラム参加(40%)、帰国後の成果報告会及びレポート作成(30%)をあわせて「国際交流」2単位（通年扱い）の単位を付与します。

9. その他

履修希望者は必ず別途配信する募集要項を必ず確認すること。

- 1年生：地域文化論（基礎）、2年生：先取り履修科目（超域文化論）、
 3・4年生：地域文化論（フランス）の履修を推奨します。